

留学先国名 : カナダ

留学先学校名 : Mount Allison University

留学期間 : 平成 27 年 5 月 23 日 ~ 平成 30 年 8 月 31 日

生活：親元を離れて海外で暮らすことで、大きく自立するきっかけになりました。この一年間でホームステイ、寮、シェアハウスでの様々な生活形態を経験しましたがどれを取っても日本とは勝手が違う環境では戸惑うことも多々ありました。

まずはホームステイ、これは留学初心者なら多くの人が経験すると思いますが、他人の家で家族の一員として過ごすのは家族のありがたみを海外でも感じるができる一方で、家に住まわせてもらっているという意味では家族に合わせた生活になり、日本の家族よりも制限されている部分が多いと思うことが正直ありました。

次に寮生活ですが、寮は近くに沢山の友達が住んでいて、食事も全て食堂で朝昼晩が用意されているので、勉強に集中できる環境です。

最後にシェアハウスですが、私の場合は知り合いのいない所に住んでいたため新しい人間関係を築くことができ、尚且つ自分で自炊することでお金のやりくりの難しさを知ることができました。ですが、海外のスーパーに行く機会を設けることでその土地に合った食材を知り、料理をすることができました。でも個人的には日本のスーパーの方がこじんまりしていて、かつ買いたいものがまとまって売られているので買い物やすく新鮮なものが売られているとも思いました。

成果：海外の大学生は、日本の大学生に比べ広い視野を持っていると感じました。私は先学期に政治学を履修していました。カナダも日本と同じ議院内閣制を採用しています。ある日の授業で、私の教授が今年開催されるアメリカ大統領選挙の予備選挙が行われたスーパーチューズデイの翌日に「今日は授業の一時間を使って昨日の予備選について話してみよう。特にみんなはトランプ氏についてどう思う？」こう生徒の私達に問いかけたのです。その時の私は、カナダの政治状況すら無知な状態で、ましてや母国の政治についても手を挙げて発言するような勇氣はありませんでした。彼らは、隣国なのでアメリカ大統領選挙がカナダに大きく影響するのは想像つきますが、彼らはその日の授業を全く抵抗なく自分たちの知っている知識、個人的意見を次々と述べていき最終的にその日の授業はその話で持ちきりとなって終わってしまったのです。発言の内容の高さに驚きましたが、何より他国の状況をここまで意識的に目を向けている姿勢に感心しました。日本にとって投票権が18歳以上に下げられた今日ですら、投票率に悩まされ、若者の自国の政治への無関心さは大きな社会問題です。日本の状況すら、堂々と話せる日本人なんて少ないでしょうが、私たちの隣国である韓国、中国についてはもはや皆無に近いのではないのでしょうか。留学生の立場なので、現地国の歴史や政治、経済学をアカデミックのレベルで学ぶのはすごく難しいので、予習復習は欠かせません。常に授業の空き時間は図書館にこもる生活を続けているので、意識的に机

に向かい勉強する姿勢が身についたことは、日本で大学生をやっていたとすると難しいと思うので凄くいい環境を与えてもらっていると思います。

今後：私の大学4年間は始まったばかりです。初めの一年間は沢山の初めてばかりで、生活拠点を何度も変えたのでなかなか落ち着くことができず忙しくて、慣れることで精一杯でした。全てに全力投球していて上手く力の抜き方がわからず体調を崩した時期もありました。大変だった一年だからこそ学んだ面も凄く多く今思えばメリットは多かったと思います。来学期は体調を崩さないように自分自身管理をし、ダウンしない程度に前学期より良い成績を残せるように勉学に励みたいです。今、私は夏休みを利用して一時帰国しているのですが、海外で学問を学んだことがきっかけで、様々な分野で活躍している日本人の著者が世界をどんな観点で見ているのかが気になり、読書の時間が圧倒的に増えました。日本は孤島のため偏った意見になることが多々あり、まだまだ日本が目指すグローバル化には現実には難しいと感じています。実際私も、一度日本という小さな島国から出て、生まれも宗教も文化も言語も違うカナダ人を始め移民や留学生と出会うことで日本人の常識は通用がしないことが身をもって感じました。私は高校まで先進国の日本で教育を受けてきたにも関わらず、無知なことが多すぎて、クラスのディスカッションに自信を持って発言することに対して抵抗があります。日本の代表としてクラスでの話し合いには、日本の本当の姿を伝えられる存在になっていきたいですし、その個々人の繋がり、信頼がグローバル化という大きな形でも世界に通用する国づくりに繋がると信じています。色々な人の話に耳を傾け、情報を吸収し、それをまた日本人達にシェアする。今回は政治学の例をあげましたが、例えば選挙に参加する事で政治への関心を寄せ、日本の未来について考えるきっかけになると思います。だから私は世界で起こっている本当の姿を伝えていける役割ができるように今後も頑張っていきます。

留学を考えている方々へ：私が海外へ飛び出すきっかけは高校生の時に留学したことです。中学英語すら上手く伝えることが出来なかった当時はすごく苦労しました、何故なら英語と日本語では根本的に頭の使い方が違うからです。上手く英語を使うことに気を取られ、わざと難しい言い回しをしようとして伝わらないので、当初はちょっとした会話でも電子辞書が手放せず、自分の英語を何度も確認した上での発言がやっとでした。私のこれまでの経験で、英語で話す時に一番大事なことは「今自分が話していることをどれだけ相手に伝えたいか。」例えば、クラスのディスカッションであがり症の私は話している際、話し終えた後に何を言ったか覚えていないほどですが、実際話している間は次々に言葉が出てきます。教授をはじめクラスみんながクラスの貴重な時間を割いて私のまとまりのない話に耳を傾けてくれているのです。それは発言できた達成感と同時に、次回への自信につながり、上手いけば次回も他の生徒から期待してもらえきっかけとなります。留学はずっと続くものではなく、限られた時間でいかに実りのある有意義な時間を過ごすかが留学の醍醐味だと思います。正直私の大学1年目の生活は勉強に追われ、何をすることも勉強を優先してしまい、あまり他の交流を持てませんでした。ですが、勉強だけが留学の全てではなく長期で異国に滞在することで新しいものの見方、人間形成が養われると思います。皆さんも、もし留学できるチャンスがあれば躊躇することなく、比較的自由な時間が持ちやすい学生の時期に是非海外へと挑戦してみてください。